

生涯学習センターの動向

新見肇子

2010年度の生涯学習センターの主たる事業は、次の二つである。一つは、従来通り、一般市民、在学生・卒業生あるいは地域住民への本学の知的財産を提供する公開講座の継続実施、在学生に対するキャリア支援を中心とした公開講座、およびセンターの広報と地域貢献のための講演会・講座（いずれも無料）を実施したことである。二つ目は、4月からリカレント教育課程が文科省の委託事業を終え、生涯学習センターの事業として運営されることになったことである。

<生涯学習センターの講座>

目白の公開講座では、前期は後藤祥子氏特別講演会「平安女性の結婚」、後期はNHK大学セミナーと連携し、「NHK大学セミナー in 日本女子大学 スペシャルドラマ『坂の上の雲』」を開催し、好評だった。教養講座、キャリア支援講座、ライブ講座、VOD配信、地域サテライトの活動、文京区との地域連携活動は、概ね例年通り実施された。講座の中では、「毎日学ぶ課外英会話」の申し込み数が昨年より45名増加したことが目立っている。また、3月11日の大震災の影響により、数講座が中止になった。

西生田では、川崎市教育委員会との連携を精力的に行い、連携講座が20に増えた。無料の特別公開講演会として、小室淑恵氏「ワーク・ライフ・バランス—新時代をあなたらしく生きるために—」を開催した。また、「西生田キャンパスの森を歩く」など社会貢献度の高い講座を実施し、受講者から高い評価を得た。さらに教養・文化、スポーツ、語学などの講座も着実に継続実施した。その他、キャリア形成に資する講座の実施、また心理相談や子育て支援事業も継続して行った。

<リカレント教育課程>

大学の教育課程として位置づけられることになり、リカレント教育委員会において、課程の規定を整備・充実させ、どのような人材を育成するかを再検討した。現在どのような職場でも求められる即戦力になる実務能力を身につける一方、新卒者には無い経験やコミュニケーション能力を生かした、円滑な人間関係を築ける力を培うことを目指して、ITリテラシーや英語（資格英語を含む）を中心にした必修科目と、ビジネスに特化した選択科目を充実させることが確認された。

リカレント教育課程の事務室も生涯学習課の所属になった。リカレントのための新たな教室の他に事務室が桜楓別館に設置され、再教育・再就職のための授業の円滑な

運営の補佐、求職活動支援を中心とした事務運営や相談を行う体制が次第に整った。

東京商工会議所や米国商工会議所と連携しながら、合同企業説明会を開催したり、イベントに参加したりして受講生の求職活動を強力に支援した。さらに個人面談、再就職のための情報や働くことの意味を考える機会を提供するシンポジウム開催は、これまで通り実施した。なお、10年度の入学者数は48名、修了者数20名であった。

今後の課題としては、入学者数の確保（1期定員30名）のための広報活動の拡充を初め、受講生の多様な事情や環境、就職に対する様々な意識や希望に対応できる開設科目の見直し、また、幅広い求人の確保などがあげられる。

(にいみ はつこ 文学部英文学科教授)